

## 教育評価結果から

### 【学校について】

- ・10項目のうち、項目3を除く9項目で、A・Bの割合の合計が85～97%になっており、保護者の皆さんの評価は“おおむねよい”ととらえることができます。
- ・項目3（学校は「命の尊さ」や「いじめ」の指導など、人権を大切にされた教育をしている）の結果については、Cが8%・?が17%になっており、昨年度よりも評価が下がっています。  
⇒学校では、毎学期「心のアンケート」を実施し、一人一人の内面や悩みなどをとらえるとともに、いじめの早期発見・対応にも活用しています。昨年度より評価が下がったのは、保護者の皆さんへの情報発信が不十分であったと考えます。今後、校報「光迪」や学年・学級だより、ホームページなどを通して、より積極的に情報発信をしていきます。

### 【子どもさんについて】

- ・項目11（お子さんは学校へ行くことを楽しみにしている）では、A・Bの割合の合計が94%（A…50%、B…44%）という高い評価でした。この結果から、子どもたちの多くが楽しく登校することができているととらえられます。
- ・項目12（お子さんは授業が楽しく分かりやすいと話している）では、A・Bの割合の合計が82%ですが、Cの割合も12%と高くなっています。  
⇒子どもたちが、授業の終わりに「できた!」、「分かった!」と実感できるような授業づくりを工夫していきます。
- ・項目13（お子さんは自ら進んで学習に取り組んでいる）では、C・D・?の割合の合計が31%でした。瑞陵中学校のテスト期間に合わせた「家庭学習がんばり週間」では、保護者の皆さんからよい評価をいただきました。しかし、「家庭学習がんばり週間」以外の学習習慣の定着については不十分だと言えます。  
⇒各学年の子どもに合わせた家庭学習の内容や量を検討するとともに、具体的な取り組み方を示すなどしていきたいと考えます。保護者の皆さんのご協力をお願いします。
- ・項目15（お子さんは午後9時以降ケータイやゲームを使用しないようにしている）は、今年度付け加えた項目です。C・Dの割合の合計が20%を超えました。生活が不規則になったり、ネットにかかわるトラブルに巻き込まれたりする心配があります。  
⇒学校では、情報モラルにかかわる指導に力を入れ、子どもがネットにかかわるトラブルに巻き込まれないよう未然防止に努めていきます。

### 【保護者自身に関するもの】

- ・学校との連携及びPTA行事への協力を積極的にしてくださり、ありがとうございます。今後も引き続きよろしく申し上げます。
- ・項目19（子どもと相談して、ケータイやゲームの使い方のルールを決めている）は、項目15と同様今年度付け加えた項目です。ほとんどの家庭で、ルールづくりをしていただきありがとうございます。お子さんがネットにかかわるトラブルに巻き込まれないために、きちんとルールを守っているかどうか、必ず見届けをお願いします。

### 今後特に力を入れて取り組んで欲しいこと（特に多かったもの）

- 学力の向上（算数・国語・英語、コミュニケーション力、ディスカッション力など）
- いじめの未然防止（人権教育、道徳授業の充実、個性を大切にされた指導など）
- ケータイやゲーム・ネットとのかかわり方（情報モラル教育、親子のルールづくりなど）
- 体力の向上（体力づくりの時間、外での遊びなど）
- あいさつ・言葉遣い（積極的なあいさつ、上級生や目上の人への話し方、敬語の使い方など）
- 参観日以外で子どもたちの姿が見られる場の設定

\* 貴重なご意見、ありがとうございました。来年度の教育活動に生かしていきたいと考えております。